

令和元年(平成31年)度寄附講座活動実績報告書

寄附講座名：心臓血管低侵襲治療学講座

所 属 長：夜久 均

1 寄附講座の目的

京都府立医科大学において、心臓大血管疾患に対する血管内治療による低侵襲治療の体制を確立することを目的とし、大動脈瘤に対するステントグラフト治療の発展と心臓弁膜症に対する新しい治療戦略の導入・発展を研究目標とする。

2 報告年度に係る取組状況

ステントグラフト手術数は、胸部大動脈ステントグラフト内挿術**13**例、腹部大動脈ステントグラフト内挿術**34**例であった。

2016年5月9日に、経カテーテル的大動脈弁置換術**1**例目を実施して以降、経カテーテル的大動脈弁置換術実施は、累積**300**例を超えた。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

著書：

・なし

論文：

・なし

学会発表：

・坂井修. 一般口演 1「EVAR」 EVAR長期予後改善のために EVAR後Endoleakの検証. 第47回日本血管外科学会, 2019, 名古屋.

・坂井修. 一般演題 24「腹部大動脈瘤3」ステントグラフト手術における、造影剤使用減量の試み. 第60回 日本脈管学会総会, 2019, 東京.

・坂井修, 岡克彦, 井上知也, 神田圭一, 夜久均. ポスター**58** (その他) **Conformable Gore TAG**の成績. 第72回日本胸部外科学会, 2019. 京都.

- ・岡克彦<座長>. ポスター69 TEVAR8. 第47回日本血管外科学会, 2019, 名古屋.
- ・岡克彦<座長>. シンポジウム3 心臓:再手術に学ぶ; TEVAR時代のB型解離の治療戦略. 第62回関西胸部外科学会学術集会, 2019, 徳島.
- ・岡克彦<コメンテーター>. シンポジウム3 腹部分枝再建を伴うステントグラフト治療(fene, snorkel, debranch). 第14回Japan Endovascular Symposium, 2019, 東京.
- ・岡克彦<座長>. JSAO シンポジウム8 弓部大動脈瘤に対する TEVAR: デバイスから見たステントグラフトの有効性と今後の課題. 第57回日本人工臓器学会, 2019, 大阪.

講演:

- ・岡克彦. ランチョンセミナー2 TAG発売から10年で考えるコンフォーマブルゴア®TAG®の特性. 第62回関西胸部外科学会学術集会, 2019, 徳島.
- ・坂井修. ランチョンセミナー2 コンフォーマブルゴア®TAG®の長期成績. 第62回関西胸部外科学会学術集会, 2019, 徳島.

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。